

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

# ComiNavi



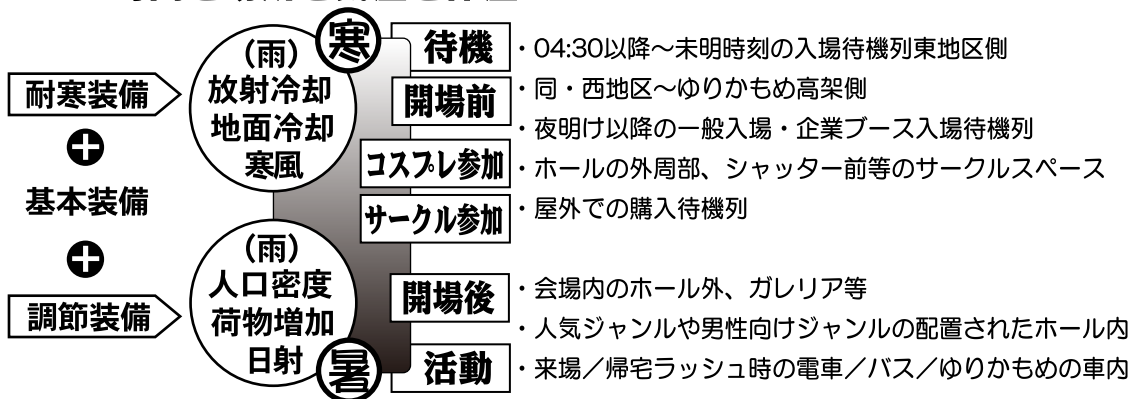
先の震災に始まる様々な混乱も収束したようなしないような、微妙に落ち着かないままに今年が終わろうとしています。そんな今年の最後を飾るコミケット、参加するからには不測の事態の発生も視野に入れた準備と心構えをもった上で、一刻浮世の憂れいを忘れて、参加者全員で思い切り楽しみましょう!!

## ■■防寒戦略、しましょうか!■■

単に寒さに耐えればよいのならスキーウェアでも着込めば十分だ。しかし、コミケットの会場は時間と場所によって寒さに大きな差がある上に、たとえ同じ場所に居てもサークル側と一般側のように、参加者個人個人の立場、体調や行動によって感じる寒さや暑さに大きな差が生じる。コミケットという場所は、防寒対策一つとっても一筋縄ではいかないのだ。

しかし、そこで思考停止せずに、自分の参加する時間やジャンルの傾向をよく考え、それに応じた装備を選択することが大切なのだ。的確な防寒や体温調整ができれば疲労の軽減と体力の余裕につながり、それだけあなたの会場内での活動能力は向上するのだから。

## ■時間と場所と気温と体温■



### ●耐寒装備●

長時間の待機の際はどうしてもある程度以上のしっかりした装備が必須となる。

冬の東京は快晴のことが多いが、その分未明の時間帯は放射冷却による冷え込みが厳しく、風が吹くことが多いために体感気温は更に下がる。そんな環境下では風を防ぐ装備は必須だ。さらに、待機中は体温を冷たい外気に奪われないことが大切になる。襟周り、手首、足首、腰周りは熱が逃げやすいポイントなので、マフラーや手袋といったアイテムを駆使して体温を確保しよう。地面に直接座ると非常に冷えるので、疲労の低減のためにも何らかの敷物も用意しておくのが望ましい。トラベルグッズのエアクッション類は座り心地が良い上に冷えの伝わりを防止し、コンパクトに収納できる特にオススメのアイテムだ。

**用意!**

単品で防風・ある程度の防水能力を持つシェルジャケットやパーカー（できれば丈の長めのもの）、ダウンやフリースなどの防寒着、マフラー、マスク、ひざ掛けやストール、手袋、耳あて、帽子、カイロ（貼るタイプ・手先用・爪先用）、敷物か折り畳みイス。